

## 森林技術・森林保全部門

### 業務研究発表会で受賞

二月一日（木）林野庁において、平成二七年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。（写真）

四国局から、三部門（各一課題）を発表し、二部門で受賞しました。

発表及び審査の結果は左記のとおりです。（各局の発表課題等は裏面に掲載）

**森林技術部門**において、愛媛森林管理署の「かかり木の安全対策について」に対して、日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

**森林ふれあい部門**において、四万十森林管理署の「名勝・入野松原の再生と地域連携による取組」を発表しました。

**森林保全部門**では、森林技術・支援センターの「囲いわなによる効率的なシカ捕獲及び普及」に対して林野庁長官賞（優秀賞）を受賞しました。

参加された皆さまご苦労さまでした。

今後におきましても、局署等における

現場業務の実行を通じて得られた取組等の成果発表に職員の皆様のご協力をよろしく願います。



## 「四国森林・林業研究発表会」

1月21日（木）に開催

平成27年度「四国森林・林業研究発表会」を、平成28年1月21日（木）に局大会議室で開催します。

発表課題は局署等から11課題、自治体等から2課題、教育機関等から4課題、試験研究機関（特別発表）から3課題、合計20課題です。



発表者は、分かり易い説明資料等の準備をお願いします。

また、聴講される方は、今後の業務に活かすためにも積極的な質問等お願いしますとともに、すべての課題の聴講もお願いします。（写真は、昨年、発表会場での質問の様子）

### 編集後記

2016年が明けました。今年も体調に留意して日々の生活を過ごしましょう。

申（さる）年も ご愛読よろしく願います。（技術普及課一同）



## 「ひっつき虫」って

庭や空き地で植えもしない雑草が。これは植物の種が風に飛ばされたり、人や獣の体について運ばれるものなど何らかの力を借りて遠くへ。

中でも、ひっつき虫は子どもたちに大人気。

センダングサ（写真上）などは、釣り針のかえし針のような逆とげが沢山あり取れにくい。

ひっつき虫の王様のオナモミ（写真中）は全身カギだらけ。

このオナモミの実からヒントを得て、マジックテープが考案。

また、ノブキ、チヂミザサ（写真下）などは、ねばねばした粘液を出してひっつく。

（街の自然観察 矢野 亮著より）



平成27年度 国有林野事業業務研究発表会 受賞課題

(森林技術部門)

第一会場:農林水産省 本館7階 第3特別会議室

	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名(現所属)	受賞
1	道北における一貫作業システムの充実に向けて	北海道	上川北部森林管理署	清水川 一儀 直井 陽代	
2	誘導伐及び一貫作業システム推進に向けた検討	九州	熊本南部森林管理署	白濱 正明 米本 龍正	林野庁長官賞 (優秀賞)
3	トータルコスト削減への挑戦！ ～伐・造一貫作業システムin愛知～	中部	愛知森林管理事務所	鈴木 健二 中谷 淳視	林業機械化協会会長賞
4	九州地域における低密度植栽の検証について	九州	森林技術・支援センター	池水 寛治 田中 和利	
5	コンテナ苗植栽技術の開発・普及に向けた取組	中部	中信森林管理署	堀内 志保 青島 雅俊	林野庁長官賞 (最優秀賞)
6	単木伐採法による複層林上木の全面伐採 ～短期二段林施業の可能性を探る～	近畿中国	兵庫森林管理署	野田 晋一(現 和歌山署) 北垣 寛武	
7	天然林での樹種の多様化を図る更新方法の開発	北海道	森林技術・支援センター	友田 敦	
8	国産材を使用した型枠用合板の利用拡大に向けた取り組み	東北	山形森林管理署	高橋 和子 阿部 隆治(現 仙台署)	全国木材組合連合会会長賞
9	木質バイオマスの販売による収入確保の可能性の検討	近畿中国	山口森林管理事務所	寺田 智哉	
10	かかり木の安全対策について	四国	愛媛森林管理署	水田 英司 武市 泰典	日本林政ジャーナリストの 会会長賞
11	「中越地区直轄地すべり防止事業」10年間の成果	関東	中越森林管理署	小柳 勝志(現 局治山課)	
12	雄物川流域における市町村森林整備計画の策定支援 ～民有林と国有林のフォレスター等の連携～	東北	秋田森林管理署	三浦 雄幸 伊東 弘至	
13	公益的機能維持増進協定による森林整備の推進について	関東	天竜森林管理署 静岡県天竜農林局	役田 学 佐野 信幸	日本森林技術協会理事長賞

(森林ふれあい部門)

第二会場:農林水産省 本館7階 共用第10会議室(午前)

	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名(現所属)	受賞
	名勝・入野松原の再生 ～地域連携による取り組み～	四国	四万十森林管理署	林 美樹也 中村 正史	
1	地域で考えるポロト自然休養林の活用と保全	北海道	胆振東部森林管理署 北海道白老町役場	濱崎 ちさと(現 後志署) 坂本 世悟	
	「ふれあいの森(駄国桜々良の森)」における森林整備活動 等の取り組み	九州	西部児湯森林管理署 宮崎県児湯農林振興局	中村 正任 福岡 忠行 江藤 能充	
2	地域の特色を活かした体系的な森林環境教育の取り組み	東北	津軽森林管理署 金木支署 森林技術・支援センター	佐々木 尚輝 岡浦 貴富(現 技術普及課)	全国レクリエーション協会 会長賞
3	箕面の森で体験から学ぶ ～「森の探検隊」プログラムの実践～	近畿中国	箕面森林ふれあい推進センター	池田 克司	林野庁長官賞 (最優秀賞)
	遊々の森の活動を振り返って ～「多摩市民の森・フレンドツリー」～	中部	南信森林管理署 多摩市立八ヶ岳少年自然の家	新川 雄大 五味 直喜	林野庁長官賞 (優秀賞)

(森林保全部門)

第二会場:農林水産省 本館7階 共用第10会議室(午後)

	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名(現所属)	受賞
1	囲いわなによる効率的なシカ捕獲及び普及	四国	森林技術・支援センター	芹口 竜一	林野庁長官賞 (優秀賞)
	これからの狩猟の担い手 ～森林官ハンターとしてエゾシカ対策を考察～	北海道	網走中部森林管理署	中西 誠	林野庁長官賞 (最優秀賞)
2	迫りくるシカ被害に備えて	東北	三陸北部森林管理署	菊池 耕太 市原 良浩(現 岩手北部署)	
3	簡易チェックシートを用いた二ホンシカ影響調査結果	関東	局 保全課 一般社団法人 日本森林技術協会	黒沢 幸一 関根 亨	
	木曾駒ヶ岳における植生復元作業について(10年間の取組み)	中部	木曾森林ふれあい推進センター 東京コンサルタンツ株式会社	小林 伸雄 藤田 淳一	
4	海岸保安林機能の維持と景観保全に配慮した虹の松原管理マニュアル	九州	佐賀森林管理署 国土防災株式会社	大村 俊貴 山部 国広 佐藤 亜貴夫	日本森林林業振興会会長賞
	カワウと人の共生の森プロジェクト 10年の節目を迎えて ～カワウ対策10年の歩みと今後の森林管理について～	近畿中国	滋賀森林管理署	片桐 亜由美	